

# 「安心」「安全」が確保されるってホントなの？

## — 県水道3事業の「みやぎ型管理運営方式」 —

県民への十分な説明がないまま、上工下水道事業の運営権を民間に売却する「みやぎ型管理運営方式」が導入されようとしています。

私たちは安心・安全な宮城の水を持続的に確保する視点から、それぞれの立場でこの問題を検討してきました。とりわけ上水道は生活に密着したライフラインであり、県民の命に係わる公共性の高い施設ですから、全国初といわれるコンセッション方式を導入することに大きな危惧を抱いております。

県は、「県民の理解は深まった」として、11月議会に「実施方針条例案」を提案するとしています。

しかし、これまで県が主催してきたシンポジウムでは、多くの疑問が寄せられており、こうした「県民の疑問」に答えることなく、導入ありきで計画を進めるのはなぜでしょう？

あらためて、安心・安全の観点で、「みやぎ型管理運営方式」について、学習・検討したいと考えています。

そつだよね！コスト削減につながりますっていうけどホントかしら？

みやぎ型方式とかコンセッションとか意味不明だけど？民営化とどう違うの？

これまでは5年間の委託契約だったから民間事業者に任せても安心だったけどね？

契約が20年も先まででしょ？知事や議員さんは責任持てるのかな？なんか心配よね

そつだよね、県の水道なんかより市町村の水道の方が心配だよね、そっちが先だよね？

自然災害も心配だよね、今度の台風の影響で断水している街は本当に大変だと思う！

	現在	みやぎ型管理運営方式
契約期間	4~5年間 従業員の雇用が不安定 人材育成が困難	20年間 従業員の雇用の安定 人材育成、技術継承・革新が可能
契約単位	事業ごと個別に委託 スケールメリットを發揮し難い	対象9事業を一体で契約 スケールメリットの發現効果が拡大
発注方式	仕様発注 【例】 ・9時~17時まで働いて一人いくら… ・点検は月に何回で一回いくら… ・施設管理のソフトの仕様はこのように… ・薬品はこの薬を使用…	性能発注 【例】 ・ITを活用して自動化を図り少人数で管理できる ・最速で最新のソフトを安く導入 ・長期一括調達によって同じ効果のある薬品を安く購入

県は、「みやぎ型」のメリットを強調した説明(上図)をしていますが、事業者に「運営権」を売却し、20年もの長期間、事業者の自由裁量に任せることに、「リスク」はないのでしょうか？

「みやぎ型」では、県と事業者の「利益相反」関係が強くなり、県は「事業者」の適正性(手抜きなど)を検証しなければなりません。一方、事業者は「結果責任」が求められ、緊急対応での「労働超過」(＝負担増)、「利益」を「料金値下げ」で回収されることを心配します。

### プログラム (予定)

18:00 開会  
コーディネーターの論点提起  
工藤 昭彦 県民会議会長

18:10 パネリストによる話題提供  
「みやぎ型管理運営方式」の課題と今後の対応  
—安心安全な水を確保する視点から—  
岸田 清実さん 宮城県議会議員

報道を通して感じる県民の理解  
—コンセッションへの認知度や疑問点—  
加藤健太郎さん 河北新報社編集局報道部

学習会で指摘された「みやぎ方式」の諸問題  
—技術の継承や人材確保をめぐる問題—  
木幡 誉郎さん 自治労宮城県本部

現場の取組から見た災害時安全確保の要点  
—台風19号を経験して考えたコンセッション方式への疑問—  
伊藤 武吉さん 全水道宮城県支部

19:10 フロアとの意見交換  
20:00 まとめ/閉会 (予定)

2019 11/14 [木] 18:00 ~

**入場無料** ハーネル仙台 2階 松島  
青葉区本町 2-12-7 TEL 022-222-1121